

西都の米作りを体験しよう「ふかめる」

それでは、米作りに挑戦^{ちょうせん}してみよう。

種もみ植え付け

1 種もみ選び

種もみを塩水につけます。よい種もみはしずみ、悪い種もみはうかびます。塩水のこさは、生卵をうかべて、頭が見えるぐらいです。

西都豆知識

西都では、2月ごろに種まきをしますが、まだ冬です。でも、西都にはビニールハウスがたくさんあります。ビニールハウスの昼間の気温が20℃をこえるようにします。そうすると、芽を出し大きく育ちます。

2 水につける

種もみを一週間ほど水につけて、水を吸わせ、発芽の準備をします。

3 植え付け

育苗箱^{いくひょうぼし}（バケツでもよい）に田んぼの土を入れて、土の表面がひたるぐらい水を入れます。芽を上にして種もみをまきます。日当たりのよい所におくと数日で芽が出てきます。苗^{なえ}が10cmぐらいになるまでは土がかわかないようにします。そのあとは、水の深さを5cmぐらいに保ち^{たも}ます。苗の高さが12cm、葉が2枚以上になれば、田植えができます。

種もみをまいて、田植えができるまで1か月ほどかかります。



（植え付け）

それでは、種もみの植え付けをしよう。